10／4（金）の行事

報道発表資料の配付日時 9月27日（金）

発表項目 （行事名）	令和6年度広尾町地震・津波避難訓練の実施について
概要	広尾町においては、町・防災関係機関・団体等の連携強化と災害対応能力向上、地域の防災体制の確立及び住民の防災意識の高揚を図るため、毎年、地震発生から津波来襲までの円滑な避難のための災害応急対策を中心とした訓練を実施しています。 本年度においては、北海道が保有する船舶である「漁業取締船ほくと」が、登載するドローンを用いて沿岸地域の被害状況を把握し、広尾町及び十勝総合振興局と情報共有を図るための課題を整理するため、標記訓練に参加することとなりましたので、お知らせします。 1 日時・場所等 令和6年10月4日（金） （1） 9:30～10:20 広尾町沿岸地区での避難訓練 （2）11:00～11:40 北海道漁業取締船ほくとによる広尾町音調津地区の被害状況確認訓練 2 参加者 広尾町の町内会（音調津・桜・山フンベ・中広尾・上浜・入舟町・9丁目一部）、 広尾町の事業所及び従業員（十勝港地区・中広尾地区）、 広尾町、広尾警察署、広尾海上保安署、広尾消防署、広尾町消防団、 北海道（漁業取締船ほくと、十勝総合振興局） 3 訓練内容及びスケジュール等 別紙1「広尾町地震・津波避難訓練実施要綱」及び 別紙2「北海道漁業取締船ほくとによる被害状況確認訓練の概要」のとおり **・広尾町防災訓練への北海道漁業取締船の参加は初めて** **十勝管内では、5月の豊頃町防災訓練に続いての参加** （道路網の寸断等による孤立集落を想定したドローン運航による音調津地区の被災状況の確認、関係機関にリアルタイムでの情報伝達を実施）
報道(取材)に当たってのお願い	・別紙2に関する訓練の取材に当たっては、10/2(水)15時までに別紙3で社名等を下記②十勝総合振興局へ報告願います。 ・当日10/4(金)は、別紙2に関する訓練の事前説明を行います。10時30分までに別紙2の『★印：音調津漁港の広尾漁協共同利用施設』前にお集まりください。
他のクラブとの関係	同時配付 同時レク 記者レク 広尾町から一部報道機関にプレスリリース
その他	取材対応は次のとおりとしますので、ご協力をお願いします。 広尾町地震・津波避難訓練の内容全般については、下記①広尾町 北海道漁業取締船ほくとの対応等については、下記②十勝総合振興局
担当 （連絡先）	①広尾町企画課企画防災係（担当：木下課長補佐） TEL 01558-2-0184(直通) ②北海道十勝総合振興局地域創生部危機対策室 事前報告先（担当：山田主査） TEL 0155-26-9023（直通） 当日連絡先（担当：菊地主幹） TEL 011-585-6408（公用スマホ）

令和６年度
広尾町地震・津波避難訓練
実施要綱

令和６年１０月４日

広　　尾　　町

令和６年度　広尾町地震・津波避難訓練　実施要綱

広尾町地域防災計画第４章「災害予防計画」第２節「防災訓練計画」に基づき、地震・津波避難訓練を実施する。

１．訓練の目的

災害対策基本法４８条及び広尾町地域防災計画第７章第６節に基づき地震発生から津波来襲までの円滑な避難のための災害応急対策を中心とした訓練を実施し、町・防災関係機関・団体等の連携強化と災害対応能力向上、地域の防災体制の確立及び住民の防災意識の高揚を図ることを目的とする。

２．日時及び内容

実 施 日：令和６年１０月４日（金）
開始時間：午前９時３０分　訓練開始
訓練内容：災害対策本部運営訓練、避難指示発令訓練、住民避難訓練、
　　通信伝達訓練、北海道漁業取締船「ほくと」による被害状況確認訓練

３．訓練想定（地震・津波想定）

十勝沖を震源とする巨大地震が発生。地震の規模はM8.8、広尾町は震度６強。

時　間	想　定　状　況
9:30	十勝沖を震源とする巨大地震が発生。
9:32	十勝地方南部で震度６強（震度速報）
9:33	気象庁は北海道太平洋沿岸中部を含む広範囲に『**大津波警報**』を発表 津波到達予想時刻 ・北海道太平洋沿岸中部で津波到達が最も早い場所　午前 9 時 50 分 ・十勝港　午前 10 時 00 分 津波の高さ　北海道太平洋沿岸中部　巨大（**10m超**） 広尾町災害対策本部を設置、本部長より「**避難指示**」発令
9:35	広尾町の震度６強（震源・震度に関する情報）

４．訓練内容

（１）災害対策本部運営訓練

災害発生地域の情報収集及び災害対策(初動対応対策)に関する訓練を実施します。

（２）避難指示発令訓練

避難指示発令時の通信系統の確認と熟知及び避難完了までの所要時間調査を実施します。

（３）シェイクアウト（一斉防災）訓練

自らの命は自ら守るという「自助」の取組みに重点を置き、地域住民の方々が、地震発生（防災行政無線による緊急地震速報の放送）を合図に、それぞれの所在する場所で、一斉に安全確保行動（①ドロップ：「まず低く！」②カバー：「頭を守り！」③ホールド：「動かない！」）を行います。

（４）住民避難訓練

訓練を通じ住民一人ひとりが防災意識を高め、災害発生時において的確な行動がとれるよう住民参加型の訓練を実施します。また自主防災会や町内会等による災害時要援護者の避難支援や安否確認訓練の実施による「自助」「共助」の強化を図ります。

対象地区	音調津、桜、山フンベ、中広尾、上浜、入舟町、９丁目（一部）の各町内会 十勝港地区、中広尾地区の事業所及び従業員

※令和３年度に北海道より公表された津波浸水想定区域内に家屋・施設がある町内会・事業所又は津波によって孤立する可能性がある町内会を対象とする。

＜各町内会・事業所別避難場所＞

<table>
<tr><th colspan="2">地　　区</th><th>緊　急　避　難　場　所</th><th>避　難　方　法</th></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">音　調　津</td><td>道道音調津陣屋線駐車帯付近</td><td rowspan="12">原則徒歩。
ただし、要援護者（高齢者・障がい者等）及び要援護者を介護する者や地域事情等（地形等）により自動車が必要とされる者は自動車の利用も可とする。

複数の緊急避難場所が指定されている地区については、より近い場所へ避難する。</td></tr>
<tr><td>音調津避難施設前
（スキー場跡地）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">桜</td><td>美　幌</td><td>美幌地区高台
（防災保管庫前）</td></tr>
<tr><td>フンベ</td><td>フンベ地区高台
（防災保管庫前）</td></tr>
<tr><td colspan="2">山フンベ</td><td>山フンベ集会所</td></tr>
<tr><td colspan="2">中広尾・中広尾地区事業所</td><td>役場車両センター</td></tr>
<tr><td colspan="2">上　浜</td><td>旧広尾保育所グラウンド</td></tr>
<tr><td colspan="2">入舟町・９丁目</td><td>老人福祉センター駐車場</td></tr>
<tr><td rowspan="4">十勝港事業所</td><td>漁港区</td><td>旧広尾保育所グラウンド</td></tr>
<tr><td rowspan="2">南ふ頭・
第２ふ頭</td><td>第２ふ頭避難階段空き地</td></tr>
<tr><td>老人福祉センター駐車場</td></tr>
<tr><td>第３ふ頭・
第４ふ頭</td><td>十勝港展望台</td></tr>
</table>

（５）通信伝達訓練

関係機関との事象想定の受信、送信及び避難地区、避難場所等に関する通信訓練を実施します。

（６）北海道漁業取締船「ほくと」による被害状況確認訓練

北海道が保有する漁業取締船「ほくと」が搭載するドローンを用いた沿岸地域の被害状況の把握及び、搭載艇による支援物資の搬入訓練を実施します。

【訓練担当】

広尾警察署

①通信伝達訓練に関すること。

②避難誘導、避難確認、防犯パトロール訓練に関すること。

広尾海上保安署

①通信伝達訓練に関すること。

②台風・津波等対策協議会会員へ避難指示の発令に伴う伝達に関すること。

広尾消防署及び広尾町消防団

①通信伝達訓練に関すること。

②避難誘導、避難確認訓練に関すること。

北海道

①北海道漁業取締船「ほくと」による被害状況確認訓練に関すること。

令和6年度　広尾町地震・津波避難訓練　タイムスケジュール

令和6年10月4日（金）

時刻	事　　象	町災害対策本部	災害対策部職員	海上保安署	広尾警察署	広尾消防署	避難住民
7:30			防災担当職員登庁				
8:45			訓練参加職員企画課集合 ⇒避難場所へ担当職員移動				
9:00			**防災無線による訓練実施事前周知**			消防署員・団員召集放送	
9:25						消防署員・団員誘導準備	
9:29			防災無線による緊急地震速報				
9:30	**地震発生** **シェイクアウト訓練**		・防災情報システム受信		署員誘導準備開始	署員誘導準備開始	
9:33	**大津波警報発表**	災害対策本部設置					
9:34	**避難指示発令**	避難指示発令					
9:35	**避難訓練開始**	緊急通信 ・防災行政無線 ※9:35の発令時を含め、5分毎に計3回放送し、速やかな避難を呼びかける。 ・緊急速報メール ・(聴覚障がい者FAX送信)	・総務（通信・避難誘導） ・厚生（避難誘導） ・産業(避難誘導) ・施設（避難誘導） ・文教（避難誘導）			防災無線放送後、消防サイレン吹鳴	**住民避難開始**
9:36	**通信伝達訓練**		**消防・警察・海保へ避難指示伝達** **Lアラート入力**	台風・津波等対策協議会会員へ避難指示（保安署様式）	住民への広報・避難誘導	住民への広報・避難誘導 広報車で港湾地区に避難指示	
9:50					配備署員避難開始	配備署員・団員避難開始	
10:05		住民避難完了報告	各避難場所担当者から総務に完了報告				**住民避難完了**
10:10	**避難訓練終了** **通信伝達訓練**	避難指示解除 緊急通信 ・防災行政無線 ・緊急速報メール	避難訓練終了放送 ・総務 **消防・警察・海保へ避難指示解除伝達** **各避難場所へ避難指示解除伝達**	台風・津波等対策協議会会員へ避難指示解除（保安署様式）			**避難訓練終了**
10:20	**終了**						
11:00	**※別途、北海道漁業取締船「ほくと」による被害状況確認訓練を実施（会場：音調津漁港）**						

音調津地区における「北海道漁業取締船ほくとによる被害状況確認訓練」の概要

★：「広尾町 災害対策本部」（広尾漁協共同利用施設）
①：「しおさい荘」（音調津避難施設）
②：「支援物資の陸揚げ岸壁」
③：「音調津橋」
④：「広尾警察署音 調津駐在所」
⑤：「音調津集会所」
⑥：「音調津総合センター」

＜漁業取締船ほくとによる主な訓練内容等＞

★「報道関係者への事前レク」

10:30～　音調津漁港内の「広尾町災害対策本部（広尾漁協共同利用施設）」で実施

①「ライブ映像の送信訓練」

11:05～　ドローンによる「しおさい荘」の「ライブ映像を災害対策本部へ送信

②「支援物資の陸揚げ訓練」

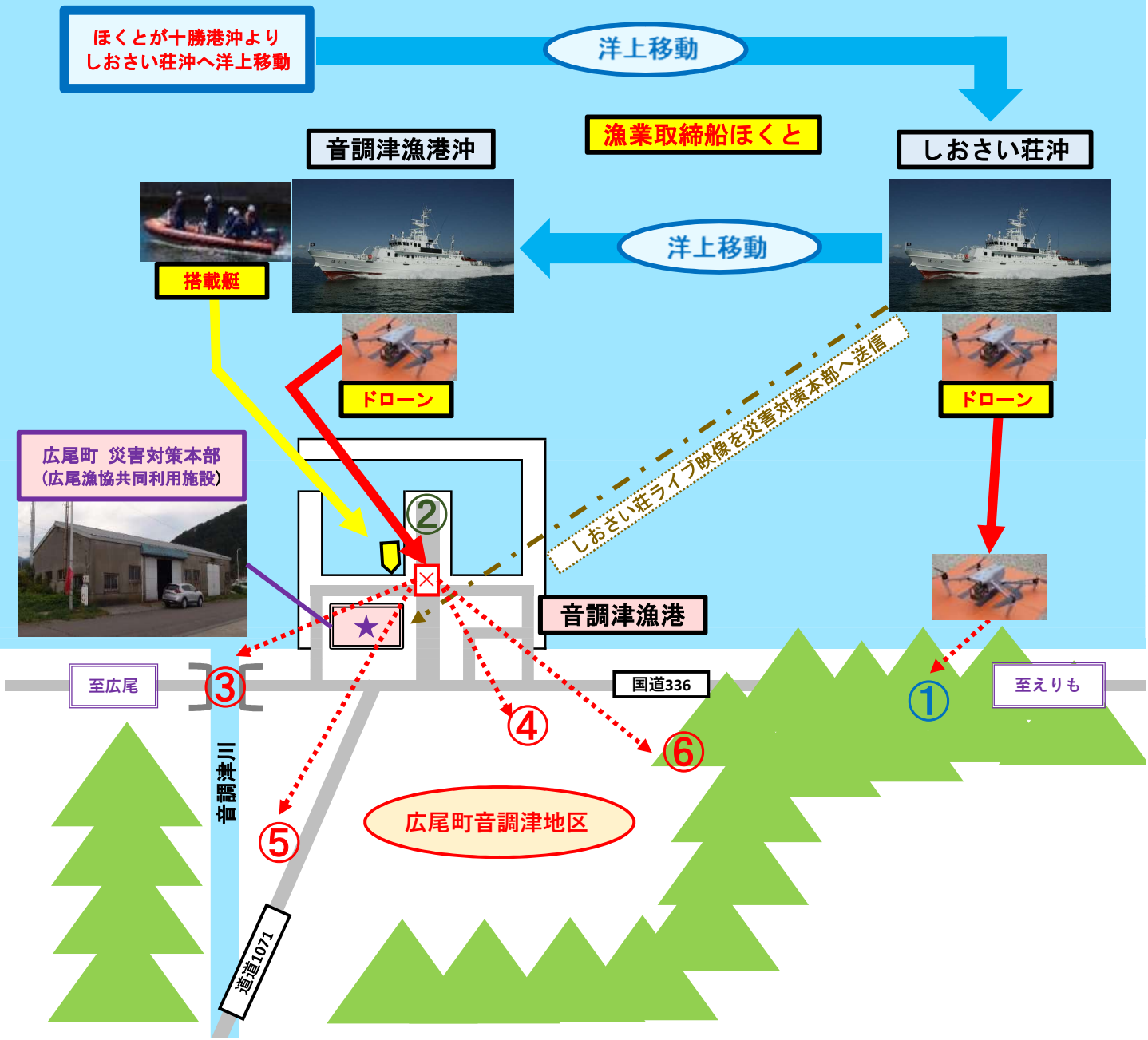
11:25～　「搭載艇」による音調津漁港内での「支援物資」の陸揚げ

③～⑥「被害の状況把握と伝達訓練」

11:30～　ドローンによる音調津地区の「被害状況の把握」と「災害対策本部への被害状況の伝達」

⑥「ドローンの機能活用訓練」

11:35～　ドローンのＡＩ機能等を活用した「音調津総合センター」の避難者の詳細把握



音調津地区における「北海道漁業取締船ほくとによる被害状況確認訓練」のタイムスケジュール等

時　間	１．「しおさい荘」（音調津避難施設）での主な訓練内容
11:00	①「ほくと」が「しおさい荘」の沖合に到着 ②「ほくと」の船上より「ドローン」を飛行させ、海側より山越に「しおさい荘」の状況を確認
11:05	③「しおさい荘」において、『ＳＯＳ表示を掲げる避難者１名を確認』 ※【ライブ映像の送信訓練】：広尾町・ほくと ◆「ドローン」の映像を、「zoom」を利用して「ほくと」より広尾町災害対策本部へのライブ映像の送信訓練

時　間	２．「音調津地区」での主な訓練内容
11:20	④「ほくと」が、「しおさい荘」の沖合から「音調津漁港」の沖合に到着 ⑤「ほくと」の船上より「搭載艇」の降下と「ドローン」の飛行を開始
11:25	⑥「搭載艇」が「音調津漁港」内に着岸後、「ドローン」を着陸させ、『船上より「支援物資」の陸揚げを実施』 ※【支援物資の陸揚げ訓練】：広尾町・広尾海保・ほくと ◆「搭載艇」による「支援物資」の岸壁上への陸揚げ訓練 ⑦「支援物資」を陸揚げ後、「ドローン」を再度飛行させ、「音調津地区」内の被害状況の確認を開始
11:30	⑧「ドローン」による「音調津地区」内の被害情報を『無線等の通信手段を使用し「広尾海上保安署」より「広尾町災害対策本部」へ連絡』 ※【被害の状況把握と伝達訓練】：広尾海保・広尾警察署・ほくと ◆事前に想定した①「音調津橋の崩落」、②「音調津駐在所の水没」、③「音調津集会所の火災」、④「音調津総合センターの避難者」の被害の状況把握と情報伝達の訓練
11:35	⑨「音調津総合センター」において、『「発煙筒等を利用して避難者の存在をアピールする警察官」と「地面に横たわる避難者」の２名を確認』 ※【ドローンの機能活用訓練】：※広尾警察署・広尾海保・ほくと ◆「ドローン」の新しい機能である「ＡＩ」や「赤外線」等の機能を活用した避難者の詳細な状況把握の訓練
11:40	⑩「ドローン」による「音調津地区」内での被害状況確認を終了し、「搭載艇」は「ほくと」へ帰還のため「音調津漁港」を出港

別紙３

令和６年度 広尾町地震・津波避難訓練 取材申込票

１　提出先・期限

北海道十勝総合振興局地域創生部危機対策室　菊地　宛

E-Mail：kikuchi.chihiro@pref.hokkaido.lg.jp

令和６年１０月２日（水）１５：００〆

２　基本事項・連絡先等

報道機関名	代表者氏名	連絡先携帯電話	取材予定人数	車両台数	備考

※「代表者氏名」「連絡先携帯電話」は、当日に現地で連絡の繋がる方の氏名・連絡先を記入してください。

３　その他・留意事項

■訓練の内容等に関する問い合わせは次のとおりとです。

①広尾町地震・津波避難訓練全般

広尾町企画課企画防災係（担当：木下課長補佐）　電話番号01558-2-0184（直通）

②北海道漁業取締船ほくとによる広尾町音調津地区の被害状況確認訓練

十勝総合振興局地域創生部危機対策室（担当：菊地、山田）　電話番号0155-26-9023（直通）

■上記②については、当日１０/４（金）１０：３０から現地において訓練概要の事前レクを行います。

別紙２の『★印：音調津漁港・広尾漁協共同利用施設』前にお集まりください。